

作成日 2025年1月31日

(臨床研究に関するお知らせ)

食道癌で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学外科学第2講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

高齢者の食道癌手術施行症例における合併症予測因子解析のための後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学外科学第2講座 講師 北谷 純也

3. 研究の目的

食道癌根治手術は、侵襲の大きな手術であるが、現状根治を目指す際の標準治療と位置づけられている。近年では、高齢者においても食道癌根治手術を行うことが増えてきているが、高齢者では術後合併症が多いと報告されている。過去に手術を施行した高齢者における術後合併症の予測因子を抽出することを本研究の目的とする。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

75歳以上の食道癌の患者さんで、令和元年4月1日から令和6年3月31日までの期間中に、食道癌手術を受けた方

(2) 研究期間

研究実施許可日～2029年3月31日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、術後早期合併症発生頻度、手術経過、術後経過、術後全生存率に関する情報です。

(5) 方法

75歳以上の食道癌に対して手術治療を施行した50例を対象に患者背景、手術成績、長期成績（再発の有無）を調査します。患者背景別に統計学的な解析を行います

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学外科学第2講座

担当者：北谷 純也

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：073-441-0613 FAX：073-446-6566

E-mail：kitadani@wakayama-med.ac.jp